



## はじめに

富谷市には現在48の町内会※があり、それぞれに工夫を重ね、地域における様々な課題解決に取り組み、地域住民の安全安心な環境づくりに大きな役割を果たしています。

町内会は、住みやすく豊かな地域づくりを実現するため、地域住民によって結成された自治組織ですが、生活スタイルの多様化や核家族化などにより、町内会を取り巻く環境は大きく変化し、未加入者や退会者の増加、役員の成り手不足や高齢化など、町内会活動における課題も増えてきています。

そこで市としては、町内会にご協力をいただきながら、地域課題の解決に向けた取組など、町内会が主体的に実施している活動事例を集め、情報を共有するツールとして事例集を作成しました。

今回掲載しましたのは、市内で活動されている町内会の事例の一部ですが、ぜひ、多くの皆様にご覧いただき、地域でのより充実した活動を行う上でのヒントとなれば幸いです。

※ 2024年3月現在

## 令和5年度富谷市町内会交流会 実施レポート ..... 4~5

- ・事例発表
- ・パネルディスカッション
- ・ワークショップ

## 各町内会の事例紹介

### 【富谷中央公民館区】

- ・町下町内会 ..... 6
- ・穀田町内会 ..... 7
- ・町上町内会 ..... 8
- ・ひより台二丁目町内会 ..... 9
- ・太子堂町内会・ひより台一丁目町内会 ..... 10

### 【富ヶ丘公民館区・日吉台公民館区・あけの平公民館区】

- ・富ヶ丘南部町内会 ..... 11
- ・鷹乃杜町内会 ..... 12
- ・日吉台二丁目町内会 ..... 13
- ・杜乃橋二丁目町内会 ..... 14
- ・富ヶ丘北部町内会・杜乃橋一丁目町内会 ..... 15
- ・あけの平一丁目町内会・あけの平三丁目町内会 ..... 16

### 【東向陽台公民館区・成田公民館区】

- ・東向陽台第一町内会 ..... 17
- ・明石台第五町内会・成田第二町内会 ..... 18
- ・成田第三町内会・成田連合町内会 ..... 19





# 令和5年度富谷市町内会交流会 実施レポート

日時:2023年11月21日(火)13:30~16:30  
場所:富谷市役所3階会議室



▲ 若生裕俊市長

村から町、そして市へと発展してきた富谷市。宅地造成とともに、新しい町内会が生まれ、その地域を支えてきました。少子高齢化・人口減少と言われる中で、国勢調査レベルでは人口が増え続けている富谷市が、今後も住みやすいまちであり続けるために重要なのは、地域コミュニティの支えでもあります。

町内会交流会では、町内会活動に携わる役員の方々が集まり、町内会のさらなる活性化について語り合い、町内会の好事例を共有しました。

## 事例発表(詳細については事例紹介ページを参照)

地域住民を繋ぐ行事  
「みんなのふれあい感謝祭」



穀田町内会 鴫 榮 会長

会員が参加しやすい雰囲気づくり



日吉台二丁目町内会 新藤 孝廣 会長

タブレットを活用した  
町内会役員会の運用



杜乃橋二丁目町内会 大久 博史 会長

## パネルディスカッション

コーディネーター:宮城大学 事業構想学群 准教授、富谷市協働のまちづくり推進審議会 会長 佐々木 秀之氏

パネリスト:穀田町内会 鴫 榮 会長、日吉台二丁目町内会 新藤 孝廣 会長、杜乃橋二丁目町内会 大久 博史 会長

**佐々木** 事例発表していただいた取組で、工夫やヒントがあれば教えてください。

**鴫** 通常の連絡事項であれば回覧にするところを、「ふれあい感謝祭」については、各家庭にチラシを配布し確実に情報を届けてもらったり、個別に電話を入れたりしました。

**佐々木** 多様な年代の方が参加されていますが、何か特別な声かけなどは行ったのでしょうか。

**鴫** 26世帯と少ないものの、子どものいる世帯が6世帯あり、子ども同士は仲が良くみんな参加してくれました。また、高齢者は自宅に迎えに行きました。数年ぶりの開催で、多くの方に参加してもらいました。

**佐々木** これからどのような町内会をめざしていきたいかということについてお考えをお聞かせください。

**新藤** 役員はずっと変わりなくベテランですが、やはり若手の人材を育成していかなければならないと思います。また、将来の子どもたちのために、会館の整備を行いました。コロナ禍で行事ができなかったことを逆にチャンスとしました。

**佐々木** 行事ができなかったコロナ禍の町内会費を未来への投資として会館整備に充てたということですね。この後ワークショップも行いますが、富谷市の町内会が交流していくことの良い面についてお聞かせください。

**大久** 私は今年会長になりましたが、近隣の町内会長はベテランの方が多く、いろいろご教授いただいております。特に新藤会長のところは、役員が元気で楽しそうにやっているの



うらやましいです。自分もそこに混ざり、できれば飲み会にも参加してみたいです。やるのであれば楽しくやりたいし、楽しくやっていたら地域住人にとって頼りになる町内会になると思います。

**新藤** ぜひいらしてください。ウエルカムです。

**佐々木** 1日町内会役員研修というのも良いですね。また、活動をオープンにするというのはとても良いことです。本日は様々な町内会から集まっていますが、つながる、連携するという事は重要なことだと思います。

※パネルディスカッションの内容の一部を抜粋して掲載しています。



## ワークショップ

ファシリテーター:合同会社フォーティR&C 代表、地域活性化・まちづくりコンサルタント 水津 陽子氏  
テーマ:「わたしたちのまちを、もっと住みやすいまちにするために、話し合ってみませんか?」

- 1 町内会の役員の高齢化や担い手不足について考える
- 2 今後富谷市をどのような地域にしていきたいか、そのためにどのような活動をしていくかを考える

上記のテーマについて、グループに分かれ参加者同士話し合いました。







## 各町内会の事例紹介

# 富谷中央公民館区



▲ 室内ボッチャの様子



▲ 「冬至かぼちゃ」と「はっと汁」

町下町内会

加入世帯数:503世帯(2023.4.1現在)

## 冬至かぼちゃ、はっと汁を食べる会

### 活動のきっかけ

- ・地域住民同士の親睦を深める目的  
(コロナ禍の中止期間を経て数年振りに開催)

### 活動の内容

- ・はじめに「健康体操」や「室内ボッチャ」で体を動かし交流し、少し汗を流してから冬至かぼちゃとはっと汁をみんなで食べる。
- ・主に地域の高齢者を対象として開催。

### 工夫していること

- ・参加者を募るため、チラシを回覧するほか、地域の様々な活動をしている方々に直接声がけし、友人を誘って来てもらうようにする。
- ・移動が困難な方は、本人が希望すれば送迎も行っている。



### ふりかえり

- ・しばらく振りの開催でコロナ流行以前よりも多い参加者となった。
- ・会食に加え、健康体操やボッチャなどの企画を盛り込むことにより、参加人数の増加につながった。

穀田町内会

加入世帯数:26世帯(2023.4.1現在)

## 地域住民を繋ぐ行事 「みんなのふれあい感謝祭」

### 活動のきっかけ

- ・隣近所との距離が遠く、顔を合わせる機会が少ない。
- ・地区の人口減少に伴い、市のスポーツ大会などに参加できなくなり、お互い顔を合わせる機会が減った。
- そこで地域住民の交流の機会を作ろうと始まった行事

### 活動の内容

- ・4年ぶりに2023年11月3日の文化の日に開催した。
- ・感謝祭の約3週間前に役員とその奥さんで献立等を決定。
- ・買い出し等は担当を決め前日まで準備。
- ・当日は開始の11時30分に合わせ、8時30分から調理及び会場準備。
- ・参加者は、穀田町内会館で芋煮、焼き鳥、おにぎり、お菓子等を食べ、ジュースやお酒を飲み、じゃんけんゲームなどをして楽しい時間を過ごす。

### 工夫していること

- ・兼業農家が多いため、農作業が落ち着いた時期に開催する。
- ・子どもたちは、子ども席を設けて同世代で楽しめるようにしている。

やっぴよかった!



### ふりかえり

- ・農繁期が過ぎ、少し落ち着いた時期の開催のため、地域住民が参加しやすい。
- ・人口減少のため参加できなくなっていたスポーツ大会以外の方法で親睦が図られることとなった。
- ・会員の健康や安否確認ができる。
- ・調理については、炊き出し訓練にもなっている。



▲ 感謝祭当日の様子



▲ 子どもたちも参加



▲ じゃんけんゲームの様子



## 「青旗」の掲出などの防災への取組

## 活動のきっかけ

- ・2009年「防災部」が新設され、「町上自主防災組織」が立ち上げられた。
- ・日頃から災害に対する心構えを持つにはどうあるべきかといった検討の結果、町上防災の「青旗」を作成し、安否確認訓練を行うと共に、災害への備えを意識してもらう手段にすることを役員会で決定。
- ・2011年1月の町内会総会において、毎月第1日曜日を『町上防災の日』と制定。

## 活動の内容

- ・毎月第1日曜日と年に2回(6月と11月)の防災訓練の日に、町上防災の「青旗」を各戸の見えるところに掲出し、班長及び副班長が協力し、青旗掲出の確認を行う。
- ・震度5以上の地震が発生した場合は、被害や怪我等がない場合、安全の意思表示として青旗を掲出することになっている。
- ・初回の青旗掲出が2011年3月の第1日曜日であったが、その5日後に「東日本大震災」が発生。青旗を掲出し、安否の意思表示をした家庭もあった。

## 工夫していること

- ・青旗による安否確認と同時に、了解を得られた一人住まいの高齢者を訪問。
- ・井戸の有無やその活用の有無について調査。
- ・発電機でポンプ駆動し、井戸水の汲み上げ、搬送。
- ・夕方から夜間にかけての訓練。  
18時～21時の間、各家庭では停電を想定し過ごす。  
会館では避難訓練、発電機2台(燃料はガソリンとプロパンガス)をフル活動し、炊飯や炊き出しを行う。
- ・豪雨時の危険箇所の確認点検。
- ・チームによるゲーム。(コミュニケーションをとるには有効)
- ・11月の防災訓練は防火も加味した内容で実施。
- ・防災班という形ではなく、町内を4ブロック制とし2年は携わる体制にした。
- ・町内会でお揃いのベストを用意し、初年度は班長、副班長に配布。返却不要とし、次年度から新副班長への配布のみ補充し、いずれは全戸配布となるよう計画。  
(お揃いのベストもコミュニケーションツールのひとつ)



▲ 防災訓練の様子



## ふりかえり

- ・東日本大震災が発生した年の6月に、全戸対象に大震災を体験してのアンケートを実施。集計分析を行った結果、一番大事なことは「常日頃から近隣とのコミュニケーションを持つこと」の結論に至り、チーム制でゲームを取り入れ、コミュニケーションを意識した訓練内容を心がけており、いざというときに助け合う雰囲気作りができています。
- ・「防災」について、月1回意識してもらう習慣ができています。また、独居の方の安否確認もできています。



▲ 月1回の「青旗」掲出

## 町内会のあり方や仕組みの見直し、新規分譲住宅の受け入れ態勢を整え町内会への加入促進を図る取組

## 活動のきっかけ

- ・町内会設立30周年の記念行事を計画中、コロナ禍において3年間総会等を中止せざるを得ない状況となり、会費の減額措置、班長等の役割負担軽減、行事の継続等を検証し、町内会のあり方の見直しを図った。
- ・町内の新規分譲住宅地開発計画の中、幾度となく説明会を経て開発業者へ要望書を提出。分譲住宅販売開始の際には受け入れ態勢を整え、新規入居者に1日も早く町内会や隣近所ともなじんでもらえるよう取り組んだ。

## 活動の内容

- ・班長の役割確認表を作成し、班長の負担軽減に取り組んだ。(行事、決まり事、清掃回数、罰金制等、従来の制度を見直し)
- ・転入者向けの町内会加入案内を作成し、活動内容を具体的に「見える化」した。  
(配布資料:町内会活動の紹介、新規転入された皆様への挨拶、会長・副会長の自宅地図と連絡先、各班割区域地図、ごみ集積所の位置・管理番号地図、防災マップ、「黄色いハンカチ作戦」協力をお願い、各役員や班長名、「子ども育成部」からの子ども会員募集案内)
- ・新規分譲住宅入居者対象の歓迎・打ち合わせ会の開催。

## 工夫していること

- ・分譲開始時は隣接する既設の班に管轄をお願いし、年度が替わる時期に1班ずつ立ち上げ、ごみ集積所を軸に現在は3班となった。
- ・新規分譲住宅入居者は、若い子育て世代が多いので、小学校へ転入してくる子ども達が、慣れない登下校時、交通安全に気を付けるよう、春・秋の交通安全週間を延長して「黄色い小旗の波運動」を行っている。通学路沿い、交差点、道端に黄色い旗を掲げて、道行く車や歩行者に交通安全を呼びかけ、お互い注意喚起するよう実施している。



## ふりかえり

- ・2023年8月に4年ぶりに夏祭り納涼盆踊り大会が開催できた。新規分譲住宅入居者にとって初めての町内会の一大イベント。子ども祭り和本祭りの二部制で、今までにない多くの方が参加し大盛況だった。
- ・新しい3班の班長、副班長の6名の若い方々とサポーターが増えたことで、会場設営、撤収も手際よく、熟年世代と若い世代がうまくかみ合い、大成功に終えることができた。
- ・新規分譲住宅の町内会加入率は100%。



▲ 夏祭り第一部子ども祭りの様子



▲ 夏祭り第二部本祭りの様子



▲ 防災訓練のバケツリレー



## 陽だまりカフェ

### 活動のきっかけ

・町内会館を気軽に利用して、近隣の方とお話をしたり、お茶飲みをしたりするなど交流を図ることができないかと考えた。

### 活動の内容

- ・毎月第2水曜日/9時~15時
- ・参加費は1人100円
- ・コーヒー、黒豆茶、煎茶が飲み放題
- ・年5回ほど昼食を提供(カレーライス、ちらし寿司、素麺、その他自前でお弁当持参)
- ・手芸、卓球、体操、カラオケ、そして一番は大好きなおしゃべり!!

### 工夫していること

- ・昼食は1人100円の集金と持ち寄りの材料を使い、工夫して作っている。
- ・会場作り、片付け、掃除はみんなで協力している。



▲ おしゃべりしながらの手芸



▲ 年に5回ある昼食会



### ふりかえり

- ・はじめは6~7名だったが、現在は20名程度に増えている。
- ・「楽しい時間だったね」と笑顔で解散。



## 自主防災組織による 実行性ある活動の具体化

### 活動のきっかけ

・東日本大震災後に自主防災組織を立ち上げ、自主防災要綱や各部会の行動マニュアル、所要資機材の整備に加え、安否確認訓練や部会の初動訓練を行ってきたが、経年と共に危機意識が薄れ、2022年3月14日の真夜中の地震の際、40%の安否確認にとどまり、従来の要領では実行性がないことを痛感したため。

### 活動の内容

- ・自主防災要綱の見直し→安否確認を最優先し、速やかに行う活動要領規程
- ・要支援者の安否確認要領と避難所設定案の検討
- ・日中、会長や防災担当者が不在時の代行者の指名や意思決定・伝達要領の検討
- ・会長と各部会班長との緊急連絡網、安否確認報告や各部会内の連絡網の構成(暫定版)

### 工夫していること

- ・安否確認はあらかじめ指定した各班2名で行う。
- ・要支援者の安否確認は民生委員にあらかじめ指定した要員2名を持って増援する。
- ・緊急連絡網に会長不在時の代行者を明示。
- ・LINEを活用した緊急連絡網や各部会内の連絡網を構成中。将来的には各班内または町内会非会員相互の連絡網の構成を検討したい。



### ふりかえり

- ・自主防災要綱の見直し内容について、役員(班長含む)へ周知できた。
- ・2023年度の総合防災訓練での安否確認や各部会の機能別訓練で検証するよう計画。
- ・実行性ある訓練を実施することにより危機意識の向上を図ることができる。

## ワンコインご近所会

### 活動のきっかけ

・防災対策として3要素の「自助・共助・公助」に「近助(ご近所同士の助け合い)」が必要と知り、その為のご近所を知る集まりを行うことにした。2017年6月に会長と副会長が住んでいたブロックで試行的に行った。

### 活動の内容

- ・毎月第4日曜日/富ヶ丘南部会館
- ・参加費用は大人500円、子ども100円のワンコインとし、参加人数×300円を町内会予算から補填。
- ・コロナ禍で2年間は中止せざるを得なかったが、2022年度からコロナウイルス感染対策を行った上で再開。
- ・13時から軽食や飲み物を購入、14時から会場設営(担当班長)、15時~17時ワンコインご近所会開催。(乾杯発声後、自己紹介やカラオケなど)
- ・差し入れの日本酒が男性に人気で、そのまま二次会に。

### 工夫していること

- ・机上札と抽選による席順決め
- ・次回開催のブロック長が参加して準備状況や進め方を確認する
- ・急なキャンセルを無くすため申込時に参加費用を徴収する
- ・子ども参加の場合は、子ども用のお菓子等を用意する
- ・親交部行事とする



### ふりかえり

- ・転入してきた家族が参加されると、以前から住んでいる住民とのスムーズな交流ができる。
- ・出生地や子ども・孫との共通点があると離れたご近所でも顔なじみとなる。
- ・ワンコインご近所会で知り合った方は一斉掃除等で会話を交わしている。



▲ ワンコインご近所会の様子



## 鷹乃杜 「街かどカフェ」



▲ 防災センター入口の看板

### 活動のきっかけ

・気軽に立ち寄り、交流できる地域の居場所づくりを富谷市が奨励したことがきっかけ。町内の鷹乃杜防災センターを利用し、コーヒーを飲みながら話をする場を提供していくことを決め、7年前に始めた。

### 活動の内容

- ・毎週火曜日10時～12時、13時～15時に鷹乃杜防災センターで実施(12時～13時は昼休憩)
- ・コーヒー1杯100円で提供し、貯金箱に入れてもらう。
- ・純喫茶形式で、コーヒーとひとくちお菓子を提供。
- ・鷹乃杜町内会はもちろん、他の町内会の方も歓迎している。
- ・2017年10月に開始し、今年で7周年。
- ・コロナ禍で街かどカフェを1回だけ休んだが、どこにも出かけられないことを経験し、やはりやらなくてはと思立ち、「やる」ためにはどうしたらよいか考え、感染症対策を実施し継続して行った。



▲ ドリップコーヒーが良い香り

### 工夫していること

- ・ちょっと気軽に寄りたくなる喫茶店のような雰囲気にしたく、純喫茶にこだわり、ジャズなどの音楽を流し、コーヒーとお菓子の提供をしている。コーヒーは、香りも楽しめるようにドリップで淹れている。人と会って話をするを目的に來ている方が多いので、喫茶に特化している。
- ・防災センターの入り口には、「鷹乃杜カフェ」の看板を出し、気軽に立ち寄れるような雰囲気づくりをしている。隣が公園なので、小さなお子さん連れの方も入りやすい雰囲気になっている。



▲ 男性も女性も毎週会話を楽しんでいる

## 会員が参加しやすい雰囲気づくりの取組より 「役員会議の会議時間短縮」

### 活動のきっかけ

・10数年前までは会議時間が19時～21時と長時間が当たり前だった。子どもの送迎や、食事の用意等、途中で退席される方が多く、班長の負担が大きかったため、役員会議の時間短縮にとりかかるとにした。

### 活動の内容

- ・会議時間は30分以内と決めた。
- ・役員会議(各部役員と班長)は、毎月第1土曜日 19時～19時30分に開催。
- ・会議事項を整理
  - (1)会長の挨拶と連絡
  - (2)各部の報告(各部長が簡潔に活動報告)
  - (3)検討事項(敬老祝賀会や芋煮会等の町内会行事、集金依頼、次期班長引継ぎ等)
- ・幹部役員(会長・副会長・区長・部長)が会議の1時間前に集合し、方向性について共通認識のもと、意思統一を図り対応。

### 工夫していること

- ・事前に幹部役員で検討事項を精査し、共通認識を持ち、すみやかに会議を進行できるよう話し合いをしている。
- ・共通認識を持てるよう意見交換を大切にしている。



### ふりかえり

- ・スムーズな議事進行により、ほとんど質問もなく、毎月会議時間は20分～25分位で終了し、班長の出席率がアップした。
- ・班長の出席率は50%→90%以上にアップ。



▲ 町内清掃の様子



▲ 日吉台中学校との防災訓練



▲ 芋煮会の事前準備



▲ 芋煮会当日の様子

※街かどカフェは鷹乃杜、富ヶ丘北部、富ヶ丘南部、ひより台一丁目、明石台第二の5つの町内会で開催しています。(2024年3月現在)



## タブレットを活用した 町内会役員会の運用

### 活動のきっかけ

・2018年にできた比較的新しい町内会で、役員は働き盛りの30~40代で、仕事に追われている人が多く、役員会議にかかる時間短縮が課題となっていた。そこでコミュニティ助成事業を活用し、タブレットを33台購入し、活用していくこととした。

### 活動の内容

- ・タブレットは各班長・部長が1台ずつ使用している。
- ・タブレットとクラウド(Googleドライブ)を活用し、情報発信の簡略化と整理を行っている。
- ・会館にインターネット環境が必要だったため、工事不要でコンセントにさしてすぐに利用できるWi-Fiを準備した。利用料は月額5,000円程度。
- ・役員会議はタブレットで資料を見ながら、ペーパーレスで行っている。

### 工夫していること

- ・各部会や行事など、フォルダごとに格納しているので、整理され、使いやすい。また、過去の資料も探しやすい。
- ・役員会当日はタブレットで資料を見ながら会議をするため、ペーパーレスになっている。大量の紙を持ち運ばなくてもよく、いつでもクラウドから確認できる。
- ・引継ぎもタブレットで資料を共有できるので、それを見ながら説明ができる。



### ふりかえり

- ・ペーパーレスで行うことができるだけでなく、印刷をする手間と時間が軽減され、その分の時間が短縮できた。
- ・役員会議は約20分程度になった。
- ・今年度始めたばかりなので、これからますます使いやすくなるよう工夫をしていく。



▲ タブレットを使用した会議の様子



▲ ペーパーレスにもつながっている

## 7年間続けている 街かどカフェの開催

### 活動のきっかけ

・地区の高齢化が進んでいるため、みんなで話し合いの場を作ってはどうかとのボランティア団体からの提案がきっかけで、コミュニケーションの輪を広げようとした。

### 活動の内容

- ・月に4回程度お茶っこの会を実施し交流を図る。
- ・年に何回かは健康に関する調査及び研修を実施している。

### 工夫していること

- ・会館に入る人数の制限とこまめな消毒を実施している。



### ふりかえり

- ・特に女性の参加者が増加した。



## 町内会退会者への働きかけ

### 活動のきっかけ

・町内会を退会希望する家庭が散見されるようになった。

### 活動の内容

- ・町内会費の支出内容について班長などが説明
  - (1) 会費が行事だけでなく様々な活動に使われていること
  - (2) 市からも補助金の形で協力をもらっていること
  - (3) 災害などの時に、互助会的な意味合いを持っていること

・町内会の役職を担うことが難しい場合は免除して、都合のついた時に引き受けてほしいと説明

### 工夫していること

- ・仕事、役割の軽減を図る。
- ・町内会費を支払わなくても、普段通りの近所付き合いをしていく。



### ふりかえり

- ・2023年度は大体会費を徴収することができた。しかし、これからも発生する恐れがある。
- ・会長名の文書を作成し、班長を通してご協力いただけるようにしていきたい。



## あけの平一丁目 ふれあいまつり

### 活動のきっかけ

- ・「町内会」と「なのはな子ども会」との合同で親睦を深めるイベントをやりたいという要望があった。
- ・コロナ禍で子どもたちも楽しめるイベントが少なく是非実施したいと思った。

### 活動の内容

- 日時:2023年11月12日(日)10時～  
場所:あけの平一丁目会館
- ・町内会の全会員にふれあいまつりチラシを配布。
  - ・チラシには参加記念品の引換券があり、当日参加者に配布。
  - ・町内会メンバーと子どもたちが一緒に楽しめるゲームを行う。
  - ・風船アートの実演とみんなで作品づくり。
  - ・豚汁とおにぎりを食べ、ゲーム賞品の表彰式を行う。

### 工夫していること

- ・大人と子どもが一緒になって楽しめるゲームの選択(昔の遊び等)
- 例:輪なげ、王様じゃんけん、お手玉、じゃんけん列車、風船アート作り
- ・豚汁をみんなで一緒に食べながら親睦を深める



### ふりかえり

- ・参加者が68名と過去最高のにぎわいになった。
- ・町内会メンバーと子どもたちが和気あいあいと楽しんだ。
- ・子どもとその保護者も町内会行事に参加してもらえた。
- ・久しぶりの町内会イベントで多くの方に楽しかった、満足した等、意見をいただいた。



▲ふれあいまつりの様子



## 東向陽台公民館区 成田公民館区



## コミュニティ助成を活用し、 大型液晶テレビなどを整備

### 活動のきっかけ

- ・会員相互の親睦を図るための行事をさらに充実したものにするため、町内会活動等に必要なものを整備しようと考えた。

### 活動の内容

- ・町内会でコミュニティ助成を活用し、大型液晶テレビ、ノート型パソコン、ブルーレイレコーダー等を整備。
  - ・町内会館でのサークル活動においても、整備した機材を有効に活用してもらっている。
- 【整備機器の有効活用事例】
- ・カラオケを楽しむ会/月1回開催、毎回20～30名が参加、参加費1人あたり1,000円。カラオケのほか、お弁当や飲み物を準備し、会食も行いながら楽しんでいる。町内会で導入した大型液晶テレビは、映像もきれいで見やすく、カラオケでも大活躍。

### 工夫していること

- ・サークル等の有志の会には、あけの平三丁目地区以外の方も参加し、地域の垣根を越えた交流を図っている。カラオケを楽しむ会は、整備された大型液晶テレビを活用し、以前よりも快適にカラオケを楽しんでいる。



### ふりかえり

- ・コミュニティ活動に必要な機材を整備し、有効に使ってもらうことで、地域の方々の交流、親睦の一助になっている。
- ・懐かしの映像鑑賞会など、液晶テレビやブルーレイレコーダー等を使ったさらなる活用方法を模索中。



▲カラオケを楽しむ会の様子

## 婦人防火クラブと合同の火の用心巡回 と町内会主催の防災講座の開催

### 活動のきっかけ

- ・従来は婦人防火クラブが火の用心巡回を実行していたが、町内会と合同で行うことでお互いに協力の輪が広がると考えた。
- ・防災講座は、防災訓練の体験者が少ないと感じていたため、町内会で計画し開催した。

### 活動の内容

- ・火の用心巡回は、15名ほどで町内を巡回し、火災予防の啓発を行った。
- ・防災講座は講師を招いて開催。
- ・9月は避難所運営ゲーム「HUG」、2月は防災ゲーム「クロスロード」を実施。グループ内で意見を出し合いながら避難所運営などについて考えるゲーム内容。
- ・参加者は町内会役員等に限定せず、一般の町内会会員も参加可能とした。

### 工夫していること

- ・全ての行事に共通するが、コロナ禍のため、参加者の安全安心を考え行った。
- ・行事の様子や開催予定等は毎月発行の町内会報で会員にお知らせしている。



### ふりかえり

- ・防災講座は、親子で参加できる内容でもあったので、参加した子どもたちも防災について身近に考える機会となった。ゲームを通じ避難所運営等についての学びを深めるとともに、参加者同士のコミュニケーションをとるきっかけになった。
- ・様々な活動を通じ、少しずつ町内会行事に目を向ける方が増えているように思う。役員力を借りて明るい町内会を目指したい。



▲町内巡回の様子



## 健康ウォーキング



▲健康ウォーキングの様子

### 活動のきっかけ

・以前は明石台地区合同でウォーキング行事を行っていた。ウォーキング以外の行事を行ったこともあったが、その後コロナの影響もあり、行事そのものが中止となる。そこで、何かできることはないかと検討し、明石台第五町内会独自でウォーキング行事を企画。2022年度初開催。今年度で2回目。

### 活動の内容

- ・自分の体力に応じてコースを選択する。スタート、ゴールは町内会館。
- ・参加者にはお弁当を配布。(感染症の状況を考慮し、会食形式ではなくお弁当とお茶を配布して終了)

### 工夫していること

- ・2コースを設定し、自分の体力に応じて選択できる。
- ・スタート時にスポーツドリンクを渡し、参加者の熱中症予防等に努める。
- ・行事終了後はその時の様子を町内会ホームページに掲載し、参加できなかった方に対して情報発信している。(町内会のホームページを見て他の町内会からの問い合わせあり)



### ふりかえり

・コロナ禍でも町内会でできることは何かと検討し、工夫しながら行った事業。会員の健康増進と親睦を図るきっかけとなった。



## 特殊詐欺防止のための講話会

### 活動のきっかけ

・全国的にも特殊詐欺の報道が後を絶たない現状であるため、犯罪被害の未然防止のために町内会でもできることとして取り組みはじめた。

### 活動の内容

- ・成田交番の警察官を講師として招き、年に2回程度特殊詐欺についての勉強会を実施。
- ・最新の手口や特殊詐欺対策について学ぶことで、他人事ではなく身近に起こりうることを再確認する。

### 工夫していること

- ・勉強会を継続して行うことで、会員に向けて定期的に注意喚起するとともに被害の未然防止に努める。
- ・地域にある成田交番とのつながりを日頃から大切にし、気軽に相談できる体制を整えておく。



### ふりかえり

・地域の事情をよく知る警察官より直接お話を聞くことで、最新の手口や身近な事例について学ぶことができる。  
・自分自身で気を付けることはもちろんのこと、町内会の会員同士がお互いに知識を深めておくことで、地域の見守り体制の強化につながる。

## 芋煮会の実施



▲芋煮会の様子

### 活動のきっかけ

- ・従来、班長相互の融和また町内会会員同士の親睦を兼ねて毎年10月に開催してきた。
- ・コロナ禍の中止期間を経て4年振りに開催。

### 活動の内容

- ・今回より山形風芋煮のみの提供。(コロナ前までは宮城風、山形風2種類の芋煮)
- ・事前に副会長、総務部中心に3回会議を行い、スケジュール、買出し、調理方法等を決定。
- ・当日は9時30分の班長会終了後、班長はテント等設営班、調理班に分かれ活動開始し、昼前に山形風芋煮650人分完成。
- ・その後芋煮会開始。

### 工夫していること

- ・班長の負担をできる限り軽減できるように提供する種類を絞り込み、食材は下処理済のものを購入。
- ・日程的にも負担を軽減するため、班長会終了後に実施。2週にわたって町内会に参加することの負担を減らした。



### ふりかえり

- ・班長会と同日にしたことで班長の出席率が上がった。
- ・終了後に打上げを行い、班長同士の融和にもつながり、有意義な時間となった。
- ・芋煮会自体にも多くの会員が参加し、子ども同士、家族ぐるみで楽しんでいた。

## どんと祭

### 活動のきっかけ

・地域の安全と明るく住みよい環境を祈願して実施しており、2005年に3つの町内会に分かれた後も、成田連合町内会行事として行っている。

### 活動の内容

- ・富谷市内の神主さんに依頼し、どんと祭を成田東公園で開催。
- ・神主さんによる火入れ式を行い、甘酒や焼きそば等を販売するキッチンカーも用意し、来場者に軽食を提供。

### 工夫していること

- ・軽食の提供を町内会会員の飲食店に依頼。金額は来場者が求めやすい価格かつ、品数が不足しないよう打合せした。持ち帰りメニューも用意。
- ・どんと祭のチラシにメニューと価格を掲載し情報提供。
- ・駐車場はないが自家用車で来場する方がいるので、事前に成田交番に伝え、路上駐車対策としてパトロールを依頼。
- ・連合町内会行事なので足並みを揃えるため会議等は綿密に行っている。



▲どんと祭の様子



### ふりかえり

- ・町内会の会員である飲食店に出店を依頼したことや、成田交番にパトロールを実施してもらうことで、他の係の人員を確保することができた。
- ・どんと祭については開催地区が減少傾向であるため、会員からも大変好評である。